

a 学校教育目標	豊かな心と表現力を養い、仲間と共に社会貢献できる、たくましい生徒の育成 ～自立・尊重・向上～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 地域に「元気」と「感謝」を届ける誇りある学校
----------	---	----------------------	--

評価計画					自己評価				改善方策	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力の育成 主体的な学びを促す授業づくり	基礎学力の定着	○定期試験ごとの「テスト直し」の実施しと、レポートやドキュメントによる可視化。 ○「本質的な問い」や「教科の特性を意識した振り返り活動」を取入れた単元構成・単元開発	①標準学力調査「活用問題」の正答率における校内平均と全国平均との比率 ②実力テスト等における校内平均と全国平均との比率 ③一人一授業提案	1 (100%)以上  1回以上										
	学力向上を意識した授業改善	○教科ごとの「PDCAサイクルシート」を活用した授業改善 ○家庭学習の充実による基礎学力の向上(各教科・各学年)	④生徒、教職員アンケートの肯定的回答率(「振り返り」および「家庭学習」に関する設問) ⑤毎日家庭学習を行う生徒の割合	80%										
たくましい心身の育成 (自ら考えより良く判断し行動する力)	生徒会活動の充実	○生徒の主体的な取組や頑張りへの肯定的評価 ○集会活動の定例開催と内容の充実 ○地域への貢献活動の促進	⑥「自分には良いところがあります」に対する肯定的な回答率 ⑦生徒アンケートにおける「主体的な地域活動への参加」についての肯定的回答率	80%										
	生徒指導・教育相談活動の充実	○個別の指導計画の作成と組織的な取組推進 ○生徒アンケート・QU等による実態把握と組織での早期対応 ○長期欠席・不登校生徒数の増加への対応、取組強化	⑧生徒アンケートにおける「学校生活への満足度」についての肯定的評価	90%										
働き方改革の推進	効率的で組織的な校務運営・業務改善	○水曜日のかたまり時間を使った学年会・部会等の定例化・活性化、進行管理の徹底と改善 ○ボトムアップによる業務改善の推進、行事等の見直し ○教職員のやりがい	⑨見直し、スリム化、業務改善が実行できた事項、学期に2つ以上 ⑩「私はこの学校に満足している」と回答する教職員の割合	80%										
	長時間勤務の縮減	○上限の目安時間を超えない時間管理の徹底(月45h) ○働く者の意識醸成(ワークライフバランス) ○部活動時間改革の継続、定時退校日の厳守	⑪時間外在校時間 月45時間以内の職員の割合	90%										

【j : 自己評価 評価】  
A : 100≦(目標達成) C : 60≦(もう少し) < 80  
B : 80≦(ほぼ達成) < 100 D : (できていない) < 60

【l : 学校関係者評価 評価】  
イ : 自己評価は適正である。  
ロ : 自己評価は適正でない。ハ : わからない。